

第 122 回 肥前セミナー

「機能的行動アセスメントの実際」

講師：井上 雅彦 先生

鳥取大学大学院医学系研究科 臨床心理学講座 教授

日時：令和 6 年 10 月 2 日（水）午後 6 時 00 分から約 1 時間程度

場所：肥前精神医療センター内「医師養成研修センター」1F 大ホール

発達障害をはじめとした、適応に困難を持つ子どもたちや、特に自閉スペクトラム症を合併した重度知的障害の人は、様々な行動の問題を呈する場合があります。それらの行動の意味を十分にアセスメントすることは、彼らの本質的な理解や受容につながり、また周囲の援助者に適切なアドバイスをすることにもつながります。「機能的行動アセスメント」は支援のために必要な多角的な情報を収集し、問題行動の背後にある要因を理解するための手法です。

今回、鳥取大学の井上雅彦先生に「機能的行動アセスメントの実際」と題してご講演頂けることとなりました。日常診療や学校教育の現場で困った時に役立つヒントを、必ず、数多く頂けることと思いますので、皆様ふるってご参加ください。

※参加無料。事前申込要。先着 80 名。前回お申し込み頂いた方もお手数ですが、再度お申し込み下さいますようお願い致します。



*QR コードから申込出来ます

※切 9 月 17 日(火)

〒842-0192 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町三津 160

独立行政法人国立病院機構 肥前精神医療センター

肥前セミナー係 松崎 / 會田 (担当 加藤)

TEL 0952-52-3231 / FAX 0952-52-3400

井上雅彦先生 プロフィール

1965 年生まれ。鳥取大学大学院医学系研究科臨床心理学講座教授。専門は応用行動分析学、臨床心理学、障害児心理学。筑波大学大学院博士課程心身障害学研究科修了。兵庫教育大学障害児教育実践センター助手、同大学発達心理臨床センター助教授、同大学大学院臨床・健康学系准教授を経て、2008 年より現職。公認心理士、認知行動療法スーパーバイザー、専門行動療法士、自閉症スペクトラム支援士（エキスパート）。現在、日本認知・行動療法学会、日本発達障害学会、日本自閉症協会、日本発達障害ネットワークで理事、日本自閉症スペクトラム学会で評議員を務める。

主な著書や監修に『自閉スペクトラム症マイペースなきみに家族はすったもんだ』（2022）、『発達障害&グレーゾーンの小学生の育て方』（2020）、『発達が気になる幼児の親面接：支援者のためのガイドブック』（2019）、『保護者と先生のための応用行動分析入門ハンドブック』（2019）『行動分析学-行動の科学的理解を目指して』（2018）、『家庭で無理なく対応できる困った行動 Q&A-自閉症の子どものための ABA 基本プログラム 4』（2015）などがある。

